

令和6年度第1回新見市子ども・子育て会議 会議録

開催日時	令和6年7月22日（月）14：00～16：10
開催場所	新見市役所 南庁舎 3階会議室3A
出席した委員 （12名）	<p>新見公立大学健康科学部健康保育学科 准教授          新見市主任児童委員連絡部会 部会長          新見市議会文教福祉常任委員会 委員長          新見市小学校長会 会長          新見市保育協議会 代表          新見市放課後児童クラブ 代表          新見市認定こども園PTA 代表          新見市幼児クラブ 代表          新見商工会議所 専務理事          阿哲商工会 会長          新見市教育委員会教育部 部長          新見市福祉部 健康支援担当部長</p>
欠席した委員 （1名）	にいみ子育てカレッジ 利用者代表
事務局 （8名）	<p>福祉部健康医療課 課長                            福祉課 参与兼課長                            子育て支援課 次長兼課長            課長補佐            主任          教育部学校教育課 課長          (株)ぎょうせい 2名</p>

議事内容（要旨）	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会議成立の確認</li> <li>■ 1 開会</li> <li>■ 2 会長挨拶</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 挨拶</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 委員、事務局紹介</li> <li>・ 配付資料確認</li> <li>・ 要綱に従って会長に議事進行をお願いする。</li> </ul>
会長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 議事①「新見市子ども・子育て会議」及び「第2期 新見市子ども・子育て支援事業計画の概要」</li> <li>・ 議事①について、事務局は説明をお願いする。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新見市子ども・子育て会議設置要綱、第2期新見市子ども・子育て支援事業計画概要について説明</li> </ul>
会長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 議事②第2期新見市子ども・子育て支援事業計画の点検・評価</li> <li>・ 議事②について、事務局は説明をお願いする。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資料①説明</li> <li>・ 第2期新見市子ども・子育て支援事業計画の実施状況調査票説明</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 伴走型相談支援事業について、妊娠、出産、子育てとずっとサポートしている事業だと思うが、1人にずっと同じ保健師が関わっているのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保健師は同じ地区を担当するので、何かない限りは同じ人である。異動があっても、前任者と一緒に訪問する形でフォローできる体制を整えている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 放課後児童クラブについて、今まさに調べようとしているが情報がない。児童クラブがどのような状況か、入れる人数、電話番号等をほかの保護者に聞いている。ホームページを見ると、学校教育課の電話番号が記載されていたので電話した。放課後児童クラブをどのように推進しているのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 放課後児童クラブの推進や充実について、対応窓口は学校教育課に設置しているので、詳細が伝えられると思う。小学校の入学説明会で利用できる放課後児童クラブの話をする所もあるかと思う。全ての学校かどうかは承知していないので確認し、利用しやすい情報提供に努めたいと思う。</li> </ul>

委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後児童クラブに情報を聞くという形でよい。他市の学童を調べると、場所や電話番号、受け入れ人数といった状況が書いてあるので質問した。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補足したい。昔は市報で広報されていた。理由は分からないが、途中からなくなった状況である。放課後児童クラブは各小学校に1つある。思誠小学校区はもともと「のびのび児童クラブ」があり、その後増えて4つある。それぞれ運営主体が違い、内容や取り決めが違う。</li> <li>・小学校の説明会で放課後児童クラブの説明があるとのことだったが、その時点で申し込みが終わっている所がたくさんある。思誠小学校区は厳しい状況だ。私も来年度の希望を受けているが、児童が出ていかないと新規で入れないので、なかなか厳しい状況にある。行き場のない家庭が、どこか入れるとよいが、理由や条件に合致しないと入れない状況にあることを知っておいてもらいたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下の子が来年4月に1年生になる。アンケートを取って、数値以上のものを用意しているというが、思誠小学校区の場合、学校教育課に電話すると、各放課後児童クラブに電話するように言われ、各放課後児童クラブに電話すると、「入学説明会のときしか受付できない」と言われる。入学説明会の時には入れないことを知っているのですが、何度もしつこく聞くと「入学説明会のある日に直接申込書を取りに来て、そこで書いてぎりぎり入れるかどうか」と言われる状態だ。思誠小学校区だけかもしれないが、足りていない。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料に載っていないが、個人でやっている所が1つある。そこは登録者が30人いる。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人の放課後児童クラブが何とかこぼれた人を救ってくれているが、来年度の開設はどうかという噂を聞いている。調べても他の放課後児童クラブはいっぱいだ。アンケートをしても数値に出ないものなのだ。もう少し声を拾ってほしい。</li> <li>・アンケート結果を見ても、運営状況が厳しいという結果がたくさん出てきているので、市から放課後児童クラブに何か支援するならば、保護者が困っていることに対応してほしい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5ページ27番は、今後の対応として「SNSを通じた情報発信を積極的に行っていく」とある。とてもよい取組だと思うが、魅力的な情報発信にならないといけない。今どの程度のことを考えているのか知りたい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SNSについては、子育て支援全般的を考えている。今、市では公式LINEの構築を考えており、LINEに登録した市民が必要な情報にアクセスできるように準備している。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度中に実施されるのか。</li> </ul>

事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明確には言えないが、今年度の早い時期に構築したいと準備を進めている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な人にいかに情報を届けるか、広報を考えてもらいたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6ページについて「令和7年3月末をもってメディカルクリニックの産院がなくなる」とのことだ。代替策として救急搬送の整備とあるが、救急車ということなのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度分娩の取り扱いを停止する形になっている。消防署に登録しておいても、緊急時に搬送体制を整えたいと協議をしている。登録していないと運ばないというわけではないが、登録をしておけば安心感につながると思う。実際は家族に連れて行ってもらうなどの方が気分的には違うかもしれませんが、緊急時に交通手段がない場合、搬送できる。できれば今年度中にと考えているが、正式な日程等までは調整できていないので、決まったら報告する。</li> </ul>
会長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> <li>■議事③子ども・子育て支援に関するニーズ調査の結果について</li> <li>・議事③について、事務局は説明をお願いします。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新見市子ども・子育て支援に関するニーズ調査報告書（以下「報告書」）説明</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料①にあった放課後児童クラブについて、今年度当初は登録人数が少なくなったとのことだが、今後はどういう状況になっていくのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度の申し込みが少なかった理由について検証はしていないが、市全体の子ども数が減り、入学する子ども数が少なくなったことも影響しているのではないかと考えている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地であるとは思いますが、思誠小学校区の放課後児童クラブを増やしていくなどといったことはできるのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定の学区に限定されない利用の仕方を提案しているが、実際に利用している放課後児童クラブは通っている小学校から近い、子どもの足で移動できるといった地理的要件がある。今後の子どもの数の推移や運営事業者が今後市内でどのくらい開設していくのかを見ながら、子育て世帯が安心して就労してもらえるように総合的に考えていく必要があると思っている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの数は減ってもニーズは増えていくと思うので、応えられるように頑張ってもらいたい。</li> </ul>

委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ずっと地元に住んでいる人と、移住してきた人や結婚して来た人では意見が違 うと思うので、そういうのを見たかった。人口を増やしていこうとしている中、 移住してきた人の意見が重要だと思う。ずっと地元にいる人は、おそらく親も いるので、子育て環境は良い、満足だと思う。</li> <li>・学童や認定こども園のこと、遊ぶ場所がないという意見を持っている人は、お そらく移住してきた人等だと思う。ほかの自治体の事情を知っている人が意見 をしていると思う。</li> </ul>
会長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・報告書53ページの母親が育児休業を取得しなかった理由として「職場に育児 休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）から」があったが、新見 市子ども・子育て支援に関するニーズ調査フリーアンサー取りまとめ結果（以 下「フリーアンサー」）9ページに「企業での取組が全く無く、非常に子育て がやりづらい」「中小企業でもっと取り組むように市役所で認定、表彰制度を つくるなど取組まない」と「新見市の社会（企業）が時代からかけ離れすぎ ています」という意見が気になった。市として、支援や対策を考えているか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート結果を見て、職場の理解が重要だと思った。市としても子育て支援 策にいろいろ取り組んでいるが、働きながら子育てする環境を作ることが大事 だと感じている。今具体的な施策は準備できていないが、関係団体と相談しな がら考えていきたいと思う。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・報告書79ページの子育てしやすい社会にするために必要だと思う支援に「小 児医療体制を充実してほしい」が大きく出ている。先ほど少し出たが、包括的 に市として何か考えているか。</li> <li>・育児休業制度が出てきているが、学校現場で男性教諭が取得すると、代替がい ないという切実な問題があるということも伝えてもらいたい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小児に限らず医療体制の充実については、アンケートだけでなく、実際の声と しても聞いている。市ががんばってお金を出せば来てくれるというものでもな く、難しいものがある。現場でも小児科医が足りない、夜間もないというの が増えている。何とか日中の小児科医はいるので、考えていかないといけない が、すぐにできるものではないというのが現状である。診療所も医師に来ても らえず、維持するのも難しい状況になっており、課題として取り組んでいかな いといけないと思っている。</li> </ul>

委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・報告書を見ると、相談支援の充実、近所付き合いの重要性、周りに助けられていると感じるような支援が必要といわれている。支援する立場として、不安を抱えているというのは申し訳ないと思った。フリーアンサーには、認定こども園を名指しで具体的に指摘している文章も複数見られる。対応する職員が保護者の立場や気持ちに寄り添い、親身に誠意を持って伝えることができていると、不満や不信感を招かなかったかもしれないと思う部分がある。制度の確立や保育の質の向上はもちろんだが、職員の保護者対応の向上、意識改革、人材育成もしっかり力を入れていかないといけないと感じた。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート調査をする際、この設問にはこれくらいの回答が返ってくるのではないかという想定をしていると思う。例えば報告書75ページの子育てのしやすさ、77ページの子育て継続意向の結果について、所管部署の感想を知りたい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人的な意見ですが、結果を見て、もう少し子育てしやすい、子育てを続けていきたいまちと答えてもらいたかったと思う。理想とする数字に届かなかった要因は、他市に負けない子育て支援をしていると思っていても、情報発信が足りなかったことだと感じている。今後は子育て世代、これから子育てをしようという世代にしっかり情報発信して、子育てしやすい、子育てを続けていきたいと思ってもらえるまちにしていきたいと考えている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かなりの人が満足しているが、満足していない人が3、4割いる。しっかりフォローしていかないといけない。</li> <li>・働き方改革、企業の取組がないというようなフリーアンサーは私も気になって付箋を付けている。企業規模が小さい、例えば4人でやっている所は1人休むと回らない。中でも経理事務を1人でやっていて、その人が抜けると、お金が動かなくなる事実もあると聞いている。100人規模で1人休むのとは違うので、何か支援策があればと思う。現場はかなり厳しい。小さな規模でも育児休業を取れるにはどうしたらよいか、大企業とは違う視点からの考え方、支援のあり方が必要ではないかと思っている。</li> <li>・率先して女性の活躍促進、子育て支援に取り組んでいる会社は、厚生労働省が「くるみん」「えるぼし」認定をしている。受けた所は仕事や売上げが増えるなどのインセンティブがあってもよいのではないかと思う。公共の受注、発注が優先的に認定企業に行われるなどがあれば、認定を取ろうということにつながり、新見市全体で働きやすい職場が増えてくるのではないか。検討してもらいたい。</li> </ul>

委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今日初めて参加し、新見市の状況がよく分かった。</li> <li>・ 今年度、新見高校の入学者は4割を切っている。中学1、2年生に「新見高校へ行け」と言っても、全く効果がない。親も子も小さい頃から安心して住んでいられるような状態にする、安心して子育てできる状態をつくれれば、新見高校にも来てもらえるようになると思う。</li> <li>・ 育児休業の問題は心が痛い。できればしていききたい。行政と協力し合って何かよい方法がないか、我々も協力していききたいと思う。</li> <li>・ 認定こども園に預けたい人が多くいるが、働き方改革で保育士が足りているのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育士の数は、数的には足りている。保育所や認定こども園に行っていない子どもには一時保育、登録制のファミリー・サポート事業もあり、保護者の休養や病気等で子どもを預けることもできる。</li> </ul>
会長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ フリーアンサーに「子どもの遊び場が本当に少ない」「それぞれの年齢に合わせた遊び場を考えて作ってほしい。でないと子どもの数は増えません」「公園でボール遊びが禁止されている」などがある。子どもの遊び場について教えてもらいたい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 雨の日や暑い日でも遊べる屋内遊戯施設ができないかという意見をよくいただく。新しい施設は予算や場所の課題があるが、何とか叶えたい、進めていけたらと思っている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報社会なので、新見市で子育てをしている人の生の声をしっかり市外に届ける。委員の「外から呼んでくる」という意見に同感だ。フリーアンサー17ページの「SNS等で新見の魅力を発信してくれた人に、にーみんポイント付与しますみたいな感じで、どんどん広めていければいいです」という意見のように、何か特典を付ける。行政からだけでなく、良かったという話を情報発信してもらえると、子どもが増えると思う。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市の公式LINEができれば、そういうことも参考に考えていききたいと思う。市外への情報発信については、積極的にやっていかないといけないと思っており、新見市の結婚から大学卒業までの代表的な支援をピックアップした子育て支援のちらしを昨年度作成した。どこまで効果があるか分からないが、新見公立大学の卒業生全員に配布した。また、二十歳の集いの参加者にも配布した。模索しながら取り組んでいる。</li> </ul>

委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後児童クラブについて、発信していかないといけない。兄弟がいる家庭はよいが、初めての子どもの場合は本当に分からないので、考えてもらいたい。学校教育課に問い合わせたときは「受け付けは1月しかやっていない」としか言われなかった。周りから、そんなことを言われていないと聞いて、電話して確認したら違った。情報公開した方が保護者としてはよい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後児童クラブの利用について、どこにアクセスしたら必要な情報が手に入るか、苦勞していることが今日分かった。市報に情報を掲載しなくなった理由は今分からないが、確認する。市報やホームページへの掲載、一括窓口の設置等、ここへ連絡すれば情報が入手できるという形について、持ち帰って検討したいと思う。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フリーアンサーは、保護者の言いたいことがまとめられていると思う。「市長とのフリートークがあったときに話したが、何も反映されていない」という意見があった。おむつのサブスクリプションの開始や給食費がポイントで返るなど少しずつ反映されているが、大量にあるアンケートに答えて何も反映されていなかったというのは、回答した側とは残念なので、フリーアンサーには目を通してもらいたい。</li> <li>・育児休業が取れないというのも、働いている側としては分かるが、社会的には産休、育休を取りなさいとなっている。仕事を辞めて子育てをしたい人もたくさんいると思うので、それを支援する方法があってもよいし、働きながら子育てしたい人は気を遣わずに休めるとよい。インターネット上で最近あるのは、休んだときにフォローした人にも何かある、企業にあるというもので、直接金銭的に自分に反映されなくても、周囲に支援があるというのも、子育て中のストレスが少なくなり、育てやすくなる。</li> <li>・保育所は入りたい所に入れる。もちろん希望の所に入れたいケースも聞くが、それでも預けられる環境がある。しかし小学校に上がると、特に夏休みは子どもを預けられる場所がない。とはいえ1年生を一人家に置いておくのも危ない。学童に6年生まで預ける人が多いのは、治安の問題だと思う。安心して子どもを置いておける場所があるというのは助かる。</li> <li>・今、年長の子どものが大きくなったとき、新見高校は分からないので、そうすると市外に出すしかなくなる。そうすると戻ってくるだけの魅力がないと、大学、就職と出て行ったままになる。長い目で見てもらえるとありがたい。</li> </ul>
会長（進行）	<p>■議事④第3期新見市子ども・子育て支援事業計画の策定について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・議事④について、事務局は説明をお願いします。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3期新見市子ども・子育て支援事業計画の策定について説明</li> </ul>

委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートに忙しい子育て世代の8割以上の方が回答し、フリーアンサーでも多くの意見を寄せてくれたことを重く受け止めている。</li> <li>・委員の意見でもあったが、フリーアンサーの中にはすぐに取り組める意見もあると思うので、それぞれの担当者が結果を受け止めて、まず何ができるかを考えてもらいたい。</li> <li>・委員からあったように、節目節目の大きな課題がある。市全体の課題だと常に意識しているので、課題解決に向けて取り組みたい。</li> <li>・アンケート結果、本日の会議で出された意見を今後の計画に少しでも生かし、新見市の子育てがより充実したものになるよう取り組んでいきたいと思う。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員からもあったように、次の計画に向けて、アンケート結果をしっかりと反映させていかないと意味がない。</li> <li>・自分が子育てをしていたときは、頼れる自分の親がいたから普通に安心していった。親に預けたり、相談したりもできる環境にあった。冒頭にあった意見のように、頼れる人がいない人の意見を反映させていかないと、新見市で子育てしようということにはつながらないと思った。よい意見だと思った。</li> <li>・そういう意見を生かしながら、どうしたらよいかという話になったとき、例えば子育てしやすい社会にするために必要だと思う支援として、1番に小児医療の充実という意見があったが、自分たちの頃もどの病院へ行けばよいのかとっていた。この意見が第一に来たのはあまり変わっていない親の悩みだと思う。一番の不安感なので、あきらめずにどういうふうにやったら良いかを、整備できない中でも少しでもやっていかないといけない。</li> <li>・働きながら子育てできる環境づくりは、最近ニーズが増えてきていると感じている。どういう環境にしていくのかを市としては考えないといけない。自分たちの頃は、学校から家に帰るまでの間、何もしなくても、ほったらかして遊びに行っても大丈夫だったが、今はそうではない。その時間、どのように過ごさせてやりたいか、過ごさせてやらないといけないかが、子育てをしていく上で重要なポイントになっているから、放課後児童クラブの充実や遊び場の充実が上に挙がってきたのだと思う。市としてしっかり考え、どうしたら安心して親が働けるかを検討していかないといけないと思っている。上位に挙がっている項目が今を反映していると思うので、第3期につないでいかないといけないと思う。併せて少数意見を拾うことも必要だと思う。</li> </ul>
会長（進行）	<p>■議事⑤その他について、何かあれば発言願いたい。</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所等のあり方について説明</li> </ul>
会長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その他になければ、以上で議事を終了する。</li> </ul>
副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・閉会</li> </ul>

